

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：頸動脈ステント留置術周術期の脳灌流評価における MRI-ASL の有用性評価

1. 研究対象者および研究対象期間

2018年6月～2023年11月に頸動脈ステント留置術のため当センターに入院加療した患者様

2. 研究目的・方法

頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術(CAS)は術前の脳灌流低下の程度により、術後合併症として過灌流症候群のリスクが増加します。過灌流症候群は痙攣や脳浮腫、脳出血により、入院期間の延長や重度の後遺症が生じ得るだけで無く致命的となり得る重篤な病態です。そのため治療前後の脳灌流評価が重要であり、当院ではCAS全症例に脳血流量を評価する画像検査（脳血流シンチグラフィ：IMP-SPECT）とMRIで造影を使用せずに脳血流の情報を得ることができる検査（MRI-ASL）を施行しています。従来の評価法であるIMP-SPECTは精度の高い検査ではある物の、その侵襲性やコスト、煩雑さから繰り返しの施行は現実的ではありません。一方でMRI-ASLは一般的なMRI検査にシーケンスを加えるだけで良く、他の脳血流評価を行う検査とは異なり体への負担が極めて少ない検査であることから緊急での検査や繰り返しの検査が可能です。この研究ではMRI-ASLの有用性を比較検討する事でIMP-SPECTの代用や補助としての役割を評価することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

脳神経外科 飯田知宏

電話番号：058 - 246 - 1111

（内線 8044）